

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		精神保健推進事業(心の健康相談)						予算事業名		保健推進事務経費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	精神保健及び精神保健福祉に関する法律							
				04	01	03	0501	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)							事業の区分		主要事業					
		1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実（健康・医療）									重点事業					
		①健康づくりの推進							担当課係等		健康増進課					
		3健康な心づくりの支援									健康増進係					
事業期間		継続（平成10年度～ 年度）														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
心に悩みを持つ者やその家族が，気軽に専門医に相談でき，心の健康の回復と保持増進を図る。								心の健康を保つことの重要性が見直されるなか，当市では平成10年度より実施している。また，近隣市町村でも同様の相談事業を実施している。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
精神科専門医師による個別相談（毎月1回，予約制）								心の健康，悩みなど相談したい市民（その家族）								
								【事業をとりまく環境の変化】								
								精神科の医療面では，市内において精神科のクリニックや病院がないため，近隣市町村の医療機関を利用しているのが現状である。気軽に精神面の相談ができる場として，重要である。社会福祉課や地域包括支援センターから紹介を受けるケースも増えてきており，関係機関との連携強化が必要である。								
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】								
精神科専門医師による個別相談（毎月1回，予約制）				精神科専門医師による個別相談（毎月1回，予約制）				精神科専門医師による個別相談（毎月1回，予約制）								

■事業費										
			R01年度		R02年度					
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0			
	県		支	出	金	0	0			
	地		方		債	0	0			
	そ		の		他	0	0			
	一		般	財	源	133	228			
歳 入 計（千 円）			133		228					
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）		金額（千円）		金額（千円）					
	01 報酬		133		228					
歳 出 計（千 円）（A）			133		228					
伸 び 率（％）					71.42					
備 考	総合計画50ページ 予算書100ページ									

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	心の健康相談実施回数	回	目標	12.00	12.00	0.00
	精神科医による精神保健に関する健康相談の年間実施回数		実績	7.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	心の健康相談者延べ人数	人	目標	36.00	36.00	0.00
	心の健康相談の年間相談者延べ人数		実績	11.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市内に精神科の医療機関が無いことから、心の不調時に気軽に、身近に相談できる場として当該事業が必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	本市に精神科医療機関が無いことから、市民が身近に相談できる場を市が提供することは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	精神科医が市民の心の不調に対する相談を受ける今の手法が適当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	市内に精神科医療機関が無いことから、予約制により実施する今の方法がコスト面・効率面でも最良である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	健康カレンダー、お知らせ版・ホームページなどを活用し市民に周知しており偏りはないと考える。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	相談人数・回数ではH30年度を下回るが、心の悩み等を抱えた者では、相談者においても家族間での調整など相談に至るまでに時間を要するケースもあり、人数等で判断できるものではない。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	毎月3件という相談枠に対し、相談の無い月もあれば、3件の相談がある場合もあるが、必要とする相談者に対しフォローするものであり、心の悩み等の軽減が図られている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
心の悩みを持つ者が気軽に相談できる場であるが、予約が無い場合もあり、本来相談の場を必要としているが相談の機会を知らないなど本事業の周知方法の検討及び強化が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
周知方法については、健康カレンダー・ホームページ・お知らせ版のほかチラシを作成しているが、チラシの設置個所の増設（企業や店舗等）を行い、必要としている者に必要な情報が届くようにする。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 ストレスや心の病が多くなるなか、市民が適切に相談できる体制を継続するとともに、事後の支援体制についても関係部署と連携し充実した体制を整備する。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 関係機関等との調整により進める。	